

「森で語ろう part II」

はじめに

京大植物園で毎月行われているこの観察会は、2003年4月に始まり、今回で42回目を迎えました。大学の植物園で、職員や院生などの有志による観察会が3年以上の間継続していて、しかも学内だけでなく学外からも多くの参加者があるという例は、全国的に見ても珍しいといえます。

この観察会の実践について、去る8月21日、北海道の江別市で開かれた「日本環境教育学会」という学会で発表してきました。発表の準備のために、これまでの観察会の記録（テーマ、ガイド、参加人数とその内訳、参加者の感想など）に目を通して思ったのは、参加者の方々は、どんなことを思って観察会に足を運んでくださっているのだろう、植物園のことをどんな風に感じているのだろう、観察会が継続することでどんな効果があったのだろうということでした。

そこで、今回の観察会のテーマは、今年1月に続き2回目となる、「森で語ろう」とさせていただきます。学会で発表した中身を簡潔に報告したうえで、参加者の皆さんの声も聞かせていただき、植物園や観察会のことをお話できればと思います。そもそも、この観察会を主催している「京大植物園を考える会」は、「それぞれの立場を越えてともに植物園の将来像を考えること」を目標に設立されました。今回の観察会「森で語ろう」が、そういう場ができるきっかけにもなればと思います。それでは、短い時間ですが、どうぞ気軽にお付き合い下さい。

ガイド 坂本三和（京大大学院農学研究科 修士二年）・中島和秀（京大植物園 職員）

京大植物園 1923年（大正12年）創立。生態植物園：植栽に工夫、昆虫、鳥、きのこなども生息。

京大植物園を考える会 京大の学生・院生、職員、近隣住民ら有志より構成。2002年11月に理学研究科によって園内の樹木伐採が行われた際、植物園の管理のあり方について議論が起こったことが設立の契機。様々な立場の人が立場を越えて植物園の将来像を考えること、植物園の存在と価値を多くの人に知らしめることが目標。月1回の観察会の実施、シンポジウムの開催、理学研究科に対する意見状の提出などを行ってきた。

これまでの京大植物園での観察会（坂本の見解）

特徴 植物をはじめとする幅広い題材をテーマに、京大の大学院生や学外の研究者等が中心となってガイドをした。近隣住民を含む学外からの参加が多かった。

意義 ・植物園の存在、価値を多くの人に広めた。・学内と学外の交流の場。社会教育的な役割。
・身近な自然に触れる機会。

今後の課題 参加者自身が発見したり、情報を発信することもできるような観察会

参加者のみなさんにお聞きしたいこと

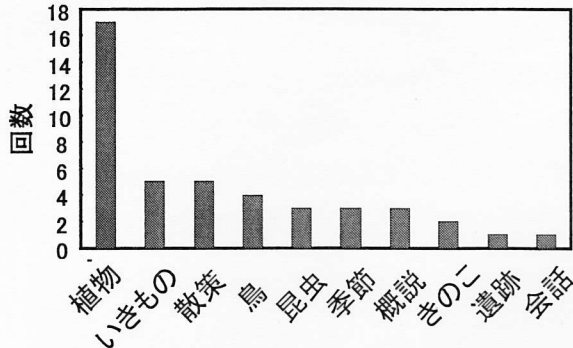
- ・京大植物園との関わり、ご縁。
- ・京大植物園で好きなところ、面白いところ（場所、動植物、雰囲気などなど）はどんなところですか？
- ・「植物園でこんなことを発見した」、「植物園で、私は見た!」という、とっておきの話。
- ・今後、京大植物園でどんな観察会がしてみたいですか？
- ・京大植物園がどのような植物園であってほしいと思いますか？

～本日はご参加ありがとうございました。最後に別紙のアンケートに御協力をお願いします～



資料 これまでの京大植物園観察会の記録

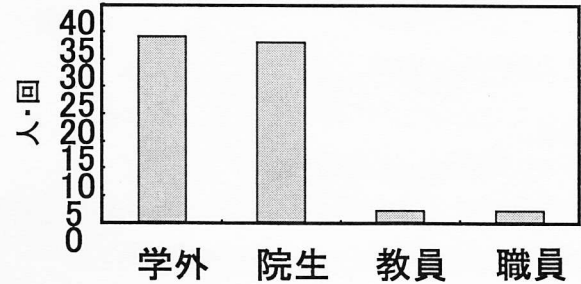
これまでの観察会のテーマ



植物をはじめとする幅広いテーマの例

植物 樹木, 草本, 花, 葉, 木の実, めばえ, 紅葉, 水生植物, 染料植物,
 いきもの「冬支度のいきものたち」
 季節「街中との温度差を感じよう」
 遺跡「植物園の中にある遺跡」
 会話「森で語ろう」

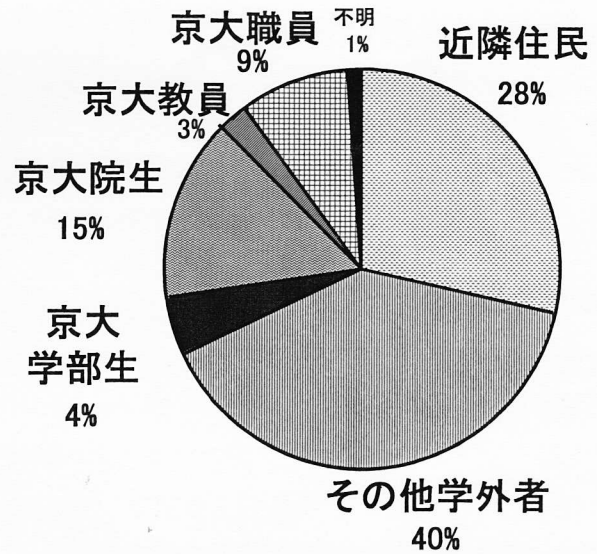
ガイド担当者の所属



学外者と院生が中心

- ・学外者 他大学、研究機関の研究者(卒業生など)
- ・院生 農・理学研究科

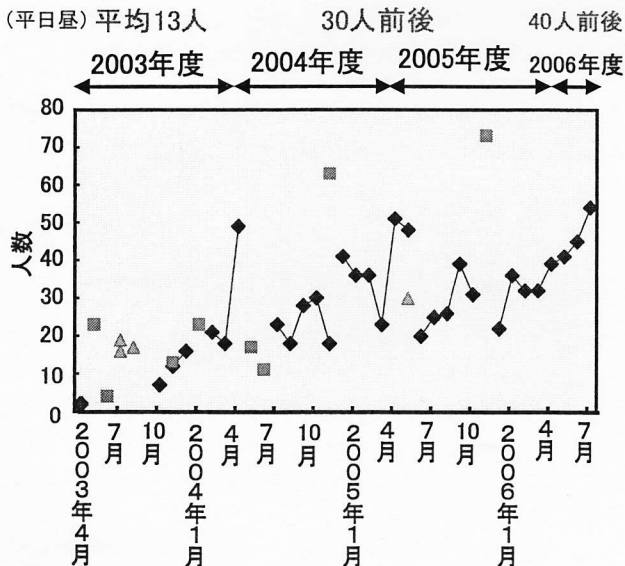
全参加者(1228人・回)の内訳



学外7割 学内3割
 学内では院生と職員が比較的多かった

参加者数の推移

- ◆ 平日昼
- 休日
- ▲ 平日その他



京大植物園を考える会 これまでの観察会 その1

回数	年月日	時間	テーマ
1	2003年4月10日木	12時10分～12時55分	春の植物園を歩こう
2	2003年5月25日日	14時～15時	新緑の植物園を一緒に歩きましょう
3	2003年6月7日土	13時～14時	ユクノキの開花をみよう
4	2003年7月18日金	17時30分～18時30分	街中との温度差を感じよう
番外	2003年7月29日火	14時～?	
5	2003年8月25日月	7時～8時10分	鳥の声を聞きましょう
6	2003年9月25日木		雨天のため中止
7	2003年10月23日木	12時10分～12時50分	秋の植物園 「草の実・木の実を探そう」
S1	2003年11月16日土	11時～12時	植物園シンポジウム記念観察会
8	2003年11月27日木	12時10分～12時50分	晩秋の植物園 「草の実・木の実を探そう Part II」
9	2003年12月18日木	12時10分～12時50分	師走の植物園 「冬支度のいきものたち」
10	2004年1月24日土	10時～11時	一月の植物園「鳥の観察 Part II」
11	2004年2月26日木	12時10分～12時50分	二月の植物園「冬眠中の虫たち」
12	2004年3月18日木	12時10分～12時50分	三月の植物園「春を待つ生き物たち」
13	2004年4月22日木	12時15分～12時50分	四月の植物園 「じぶんの花をみつけよう」
14	2004年5月22日土	10時～12時	夏のはじまり「植物園から飛びだそう」(吉田山の散策)
15	2004年6月27日日	10時～12時	六月の吉田山「夏至の候をたのしむ」(吉田山の散策2)
16	2004年7月21日水	12時15分～12時55分	七月の植物園「木陰のいきものたち」
17	2004年8月24日火	12時15分～12時55分	秋風を待つ植物園
18	2004年9月22日水	12時15分～12時55分	秋のいきものを見つけよう
19	2004年10月28日木	12時15分～12時55分	たねや芽生えをさがそう
20	2004年11月19日金	12時15分～12時55分	植物園で染料をさがそう
NF1	2004年11月20日土	13時～15時	京大11月祭北部祭典参加 植物園まつり特別観察会
21	2004年12月20日月	12時15分～12時55分	ロシアからやって来た小鳥を探そう

京大植物園を考える会 これまでの観察会 その2

回数	年月日	時間	テーマ
22	2005年1月27日木	12時15分～12時55分	生きものたちの冬越し
23	2005年2月17日木	12時15分～12時55分	樹木の立ち姿をみてみよう
24	2005年3月24日木	12時15分～12時55分	植物園内に残る古代の遺跡
25	2005年4月27日木	12時～12時55分	咲きかた、散りかた、実りかた
26	2005年5月24日月	12時～12時55分	はなやかな葉っぱ
S2	2005年5月27日金	15時～16時30分	第2回植物園シンポジウム プレイベント観察会
27	2005年6月29日水	12時～12時55分	ツユときのコ
28	2005年7月27日水	12時～12時55分	夏の虫たち
29	2005年8月30日火	12時5分～12時55分	植物園で染料をさがそう Part II
30	2005年9月27日火	12時～12時55分	秋のみどり
31	2005年10月25日火	12時～12時55分	水辺の植物たち
32NF2	2005年11月23日 水・祝	10時30分～12時30分	京大11月祭北部祭典参加 鳥と木の実
33	2005年12月15日木	12時5分～12時55分	”ツリーイング”ってなんだろう？「植物園 の大きな木をみてみよう」
34	2006年1月19日木	12時5分～12時55分	森で語ろう 「京大植物園が育むサブカルチャー」
35	2006年2月23日木	12時5分～12時55分	虫たちの越冬場所「植物を寝床に」
36	2006年3月30日木	12時5分～12時55分	北部の春（きたぐにのはる）
37	2006年4月14日金	12時5分～12時55分	タンポポから探る、生き物の分布
38	2006年5月11日木	12時5分～12時55分	植物が作る謎の部屋 ダニ室をのぞいてみ よう
39	2006年6月15日木	12時5分～12時55分	植物園のきのこたち
40	2006年7月7日金	12時5分～12時55分	植物園の苔観察 「しゃがんでこそ見える世界もある」
41	2006年8月25日土	10時～12時	植物園と吉田山